

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2019年11月)

### 【内政】

- 14日、国民議会は7日に公布された新憲法に則った選挙法改正案を全会一致で採択した。改正内容には、大統領、国民議会議員、地方議会議員の選挙の同時実施、独立国家選挙委員会(CENA)の改革等が含まれる。(15日、La Nation 紙)
- 20日、国外で療養中のヤイ・ボニ前大統領は、ECOWAS の代表団とともにベナンに帰国した。帰国後には同前大統領とタロン大統領との面談が予定されていたが、実現しなかった。(20日、21日、Le Matinal 紙)

### 【外政】

- 27日、ベナン政府は、内政干渉を理由としてオリヴィエ・ネット駐ベナン・EU 大使に対し、国外退去を命じたことを公表した。(28日、Le Matinal 紙)

### 【治安】

- 3日、ノルウェー船籍の貨物船ボニータ号がコトヌ港沖15km ほどの近海で海賊に襲撃され、船長と乗組員8名が誘拐される事件が発生した。これを受けベナン政府は、新たな海洋の安全対策を講じることを公表した。(6日、L'Économiste 紙)

### 【経済】

- 11日、アフリカ開発銀行は、2020年に2,210億フラン CFA のベナン向け資金援助を行うことを公表した。対象分野は、農業、運輸、エネルギー、衛生等8分野に及ぶ。(12日、La Nation 紙)
- 28-29日、ベナンを視察訪問中の日系企業視察団は、コトヌ市においてベナン政府関係者及び民間企業関係者と意見交換を行った。(29日、Le Matinal 紙)

### 【文化・その他】

- 16日、ベナン人女子空手家のオセアヌ・ガニエロ選手は、2019年空手フランス杯で銅メダルを獲得した。(18日、Le Matinal 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 6日、政府は、4月末に実施された国民議会議員選挙後の暴動に関与した逮捕者に対する恩赦法を公布することを閣議決定した。それを受け8日、63名が釈放された。(7日、11日、Le Matinal 紙)

- ・ 7日, タロン大統領は France24に出演し, ECOWAS 共通通貨 ECO の導入, ナイジェリア国境の閉鎖, 4月の国民議会議員選挙後の暴動による逮捕者への恩赦などについて語った。(8日, La Nation 紙)
- ・ 7日, 国民議会は, 政党憲章の改正案を採択した。(8日, Le Matinal 紙)
- ・ 7日, 国民議会によって採択された新憲法がタロン大統領によって正式に公布された。(11日, La Nation 紙)
- ・ 14日, 国民議会は7日に公布された新憲法に則った選挙法改正案を全会一致で採択した。改正内容には, 大統領, 国民議会議員, 地方議会議員の選挙の同時実施, 独立国家選挙委員会(CENA)の改革等が含まれる。(15日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 国外で療養中のヤイ・ボニ前大統領は, ECOWAS の代表団とともにベナンに帰国した。帰国後には同前大統領とタロン大統領との面談が予定されていたが, 実現しなかった。(20日, 21日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, 国民議会は, 10月の政党間対話を受け, 野党の立場を規定する法案を可決した。これにより野党が正式に制度化され, 与党と野党の区別が明確になる。(22日, La Nation 紙)
- ・ 25日, NGO「Social Watch Bénin」は, 「女性及び若者の政治的リーダーシップの強化」と題する研修会を開催し, 70名の参加者に社会参加, コミュニケーション技術, 資源の活用, 選挙キャンペーンの方法論等について研修を行った。(26日, Le Matin Libre 紙)

#### 【外政】

- ・ 11日, 高等視聴覚通信局(HAAC)のモレッティ所長は, ブリュモ駐ベナン・フランス大使及びベルシ・仏語圏アフリカ・メディア発展協会会長と会談し, メディア分野での協力関係について議論した。(12日, La Nation 紙)
- ・ 世界観光機関のビザ取得手続き, 入国審査の円滑さ等の調査により, ベナンはアフリカ諸国の中で最もアクセスしやすい国に位置づけられた。(13日, La Nation 紙)
- ・ 21日, アベノンシ外務・協力相は, ギニア・ビサウのバルボザ外務相を迎え, 両国間関係及びギニア・ビサウで行われている大統領選挙について意見交換を行った。(22日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 6か国(オランダ, スペイン, サウジアラビア, ブルンジ, インド, スイス)のベナン大使がタロン大統領に信任状の奉呈を行った。(27日, La Nation 紙)
- ・ 27日, ベナン政府は, 内政干渉を理由としてオリヴィエ・ネット駐ベナン・EU 大使に対し, 国外退去を命じたことを公表した。(28日, Le Matinal 紙)

#### 【治安】

- ・ 3日, ノルウェー船籍の貨物船ボニータ号がコトヌ港沖15km ほどの近海で海賊に襲撃され, 船長と乗組員8名が誘拐される事件が発生した。これを受けベナン政府は, 新たな海洋の安全対策を講じることを公表した。(6日, L'Économiste 紙)

- ・ 7日, 西・中部アフリカ海事機構, アフリカ軍事兵器協会は, ベナンに事務所を開設する合意を外務・協力省との間で取り結んだ。(8日, La Nation 紙)
- ・ 17日, ボルグ県ベンベレケ市において乗用車とタクシーが衝突する事故が発生し, 9名が死亡した。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 20日, ウルグアイ税関は, コトヌ行き of 米の輸送船に積み込まれていた30トンのコカインを押収した。(27日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日, 政府は治安対策のため, 陸軍に500名, 共和国警察に600名を新規採用することを閣議決定した。(21日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 27日, 国連薬物犯罪事務所(UNODC)がコトヌ市で実施していた放送業界, 警察, 税関対象のギニア湾海洋犯罪対策のための短期研修が終了した。(29日, La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ 5日, ロシア・ビジネス・国際協力発展センターは, 27-29日モスクワで貿易・文化・芸術フォーラムをベナン・ロシア両国の経済関係者を対象に実施することを発表した。目的は, 両国間の投資家を結びつけることである。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 対ベナン拡大信用ファシリティの第5次レビューのためにベナン訪問中の IMF ミッションは, 2019年第1四半期のベナン経済がとても満足のいくものであったと評した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 日本での留学・研修経験者から成る同窓会2A2BJ は, ウィニ市で飲料水の維持管理に従事する自治体職員向けに能力強化を目的とした講習会を実施した。(8日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 7日, 国民議会は, 本年1月23日に調印されたベナン・ニジェール間のパイプライン建設に係る協定を批准した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 11日, アフリカ開発銀行は, 2020年に2,210億フラン CFA のベナン向け資金援助を行うことを公表した。対象分野は, 農業, 運輸, エネルギー, 衛生等8分野に及ぶ。(12日, La Nation 紙)
- ・ 4日の週に発表されたブルッキングス研究所の報告によれば, ベナンの石油及び中古車の密輸関連産業の従事者はそれぞれ最大約4万人, 10万人であると推定される。(13日, L'Économiste 紙)
- ・ 13日, ネット駐ベナン・EU 大使とワダニ経済・財務相は, 300億フラン CFA にのぼる資金援助の署名を行った。対象分野は, 西アフリカにおける競争力の強化, 国民のエネルギーへのアクセス, 暴力的な過激主義の予防である。(14日, L'Économiste 紙)
- ・ 14日, 日本での留学・研修経験者から成る同窓会2A2BJ はアラダ市の幼稚園において, 教員らを対象に遊びを通じた教育を促進するための研修を行った。(15日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 15日, アフリカ開発銀行とワダニ経済・財務相は, コトヌ市における雨水排水計画及び地方都市の電化計画に対する資金貸付協定に署名した。(18日, La Nation 紙)

- ・ 15日, コトヌ自治港拡張計画に関する海底地質調査の入札の結果, 中国の港湾エンジニアリング会社が落札し, 協定が結ばれた。(18日, La Nation 紙)
- ・ 21日, 日本国大使館はトッフオ市における中学校建設計画に係る引渡式を実施した。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, ベルギーの国際協力機関 Enabel は, ベナン4県における農産物関連産業の開発に関する情報交換会を行い, 参加者らは成功事例を共有した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 投資・輸出促進局のガンベ局長は, 中国浙江省紹興市で開催されている第1回紹興市中国・アフリカ経済・産業・開発協力フォーラムにおいて, 中国人起業家へ向けてベナンへの投資を呼びかけた。(26日, La Nation 紙)
- ・ 22日, インフラ・運輸省においてベナンとガーナ間で, コトヌ・アクラを結ぶ航空便就航に関する合意書の署名が行われた。(26日, La Nation 紙)
- ・ 22日, 日本での留学・研修経験者から成る同窓会2A2BJ は, 日本の援助によって建設されたラギューン母子保健病院とアラダ病院を視察した。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 23日, ベナン電力公社(SBEE)の社長に新たに就任したジャック・パラディ氏は, 本社で記者会見を開き, 電力供給を安定化させることを宣言した。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, 政府は, ベナンの自治体において, 都市部の市場を6件, 地方の市場を5件建設するため, 約500億フラン CFA を投資することを閣議決定した。(28日, L'Économiste 紙)
- ・ 28日, トナト生活環境・持続的開発大臣は, コトヌ市内の9つの市場を近代化するための建設計画に署名した。(29日, Le Matinal 紙)
- ・ 28-29日, ベナンを視察訪問中の日系企業視察団は, コトヌ市においてベナン政府関係者及び民間企業関係者と意見交換を行った。(29日, Le Matinal 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 6日, 国際労働機関(ILO)事務局の高級官僚, ケレク大統領時代の開発担当大臣, 国民議会議員を務めたアルベール・テヴォエジレ氏が90歳を目前にして死去した。(7日, La Nation 紙)
- ・ 2019年フォーブズ誌の長者番付によれば, タロン大統領は仏語圏アフリカにおいて15位に位置づけられた。(同じくベナン出身の実業家であるセバスチャン・アジャボン氏は17位)(8日, L'Économiste 紙)
- ・ ベナン政府は, フランスの建設会社・ブイグ国際建設がアボメ・カラヴィ市においてモデル病院を建設することを発表した。金額は19億3千万フラン CFA(約3億8千万円相当)に上る予定である。(11日, L'Économiste 紙)
- ・ 11日, 2019年学士号取得試験の結果が公表された。合格率は72.21%で, 前年の73.91%に比べ微減となった。(12日, L'Économiste 紙)
- ・ 16日, ベナン人女子空手家のオセアヌ・ガニエロ選手は, 2019年空手フランス杯で銅メダルを獲得した。(18日, Le Matinal 紙)

- ・ 20日、孤児の問題に取り組む NGO「SOS Villages d' enfants Bénin」は記者会見を開き、養父母の募集を開始したことを公表した。同団体は、2004年から2019年まで、3040人の子どもたちを預かってきた。(21日, La Nation 紙)
- ・ 20日、UNESCO の理事選挙において、ベナン人候補者が選出された。(21日, Le Matinal 紙)
- ・ 26日、中国・寧波科学技術学院の専門家チームが、ベナン人の教育者向けの情報管理研修を実施するためベナン入りした。研修は12月16日まで続く。(27日, La Nation 紙)